

既存の建物を活かしたリニューアル

取材先 株式会社美貴本

代表取締役社長 米倉彦之

株式会社美貴本は、情報通信・住宅関連・電力という3つの部門をベ
ースに、幅広い領域でインフラ設備に不可欠な資材・工具・測定器な
どの開発・販売をしています。今回は2年前に本社オフィスをリニ
ューアルされたということで、そのお話を中心に社長の米倉氏にお
話を伺ってきました。

(取材日：2024年12月18日)

商社勤務を経て美貴本へ

米倉社長は、1954(昭和29)年生ま
れの大阪府出身。大阪大学工学部を卒業
後、川鉄商事株式会社(現・JFE商事)
に入社されました。大学で学んだ知識を
活かせる仕事と将来美貴本を継ぐ時に
必要である卸業の知識を学びたいとの
思いで、鉄鋼・鉄鋼材料を扱う商社を選
ばれたそうです。「川鉄商事では、5年ほ
ど働いていました。本当はもう少しそこ
で働きたかったのですが、その当時、原
子力発電所が日本全国様々な場所に建
設され、美貴本も超高圧の送電線や機械
納入の関係でかなり忙しかったため、早
く戻ってこいと父親に言われ、美貴本に

入社しました。あまりの忙しさに、川鉄
商事を辞めた翌日から美貴本に出社し
ていました。」

先代が亡くなられたことにより、
1991(平成3)年から社長に就任し現在
に至ります。

古い建物をあえて残した リニューアル

5年ほど前にSDGsの取り組みの
一環として社内改装を決め、2年前にリ
ニューアルが完了しました。「建物は昭和
46年に建てられ、50年以上の年月が経っ
ているため、新築で建て替えることも考
えましたが、古いビルをキレイにして使

うのもSDGsなのではないかと考え、
あえてリニューアルの方向で話を進め
ました。しかし、古い建物ですので、新し
い建築基準法には適用せず様々な制約
はあります。なので、あと20年持てば十分
だろうと思っております。改装にあたり、
セキュリティの強化と社員の働きやす
い職場環境づくりも同時に目指しまし
た。打ち合わせスペースは、テーブルご
とに壁を作り半個室のようにするとこ
で、周りを気にせず打ち合わせができ
るようにしています。また、玄関フロアを
はじめ、様々な場所に絵画やオブジェな
どを設置して常に芸術と触れ合うこと
で感性を刺激できるようにしました。玄





広々とした玄関フロア



様々な場所に設置されたグリーンや絵画がアクセントになっています。

関フロアに設置された絵画は障がい者アーティストの活動支援の一環で購入させていただいたものです。ダイナミックかつ目を惹く色彩が気に入っております。今回のリニューアルにあたり全フロアを改修したのですが、先代が過ごした歴史のある社長室は、どうしても残したいという思いがありまして、唯一そのままの状態にしています。」

社食の売上を子ども食堂へ寄付

元々本社・摂津市・茨木市の3箇所にあった倉庫を、効率の悪さなどの観点から摂津市に約400坪の物流センターとして集約し、本社の倉庫スペースは、社員がくつろげる休憩スペースにリニューアルされました。カフェのような憩いの空間にするために、間接照明やソファ、観葉植物を取り入れたそうです。このスペースは社員にも好評だそうで、春には目の前の公園に咲く桜を見ることが出来ます。

また、休憩スペースには社員に健康食品を食べる機会を増やしてもらいたいということで、冷凍の置き社食を導入されています。300円前後の値段で提供しており、多くの社員が利用されているそうです。社食購入で集まったお金は全額半年に1回「子ども食堂」へ寄付されており、今年も5月と12月に大阪は西成区・東京は台東区の子ども食堂に寄付されました。社食の売上を寄付することで、自分たちも取り組みに参加しているという意識ができるそうです。

他にも子どもに関わる取り組みでは、プロバスケットボールチームの大阪エヴェッサに協賛し、西区の小中学校に試



くつろげる空間を意識した休憩スペース

合で使う公式球を1球ずつ寄贈されています。少子化が進んでいくなか、少しでも未来を支える子どもたちにより良い環境を提供できたらと思っっているそうです。



ロゴが入った公式球

他にも、SDGsへの取り組みを強化するために「SDGs手当」として月額2000円を社員に支給されています。「自分たちがSDGsに貢献しているな」と思う活動であれば、何に使用しても良いとしています。例



冷凍の置き社食



打ち合わせスペース



共有キッチン

例えば、先ほどお話しした社食に使用するものもあれば、自己啓発でスポーツジムや映画鑑賞に使用しても良いとしています。そのかわりに、毎月何に使用したかの活動報告をもらうようになっています。」
これからも美貴本は、社員の働きやすい環境とやりがいがある仕事、そして社会貢献を通じて成長し続けます。